

SCM (サプライチェーン・マネジメント)

アンリツグループは、「利益ある持続的成長」に向け、調達・生産から物流に至るサプライチェーンのグローバルな最適化に取り組んでいます。



利益創出力の向上を目指したKPIによる改善活動

当社は、主力の計測事業の生産拠点を福島県郡山市に置くほか、アメリカ、デンマークの現地法人でも一部製品群の生産を行っています。また、産業機械事業は神奈川県厚木市のほか、タイ、中国(上海)に工場を展開し、海外ビジネスの拡大に向けた地産地消体制を推進しています。

利益創出力の向上を担うSCMにおいては、コストダウン、品質、納期、棚卸の4項目を主要なKPI(重要業績評価指標)として、パートナー企業や関係部門との協力関係のもと、継続的な改善に取り組んでいます。

コストダウンに関しては、グローバル調達を含む部材調達の合理化とともに、一部製品の海外アウトソース生産を推進しています。品質改善については、調達部材の信頼性向上や開発部門との連携による設計品質の改善に取り組んでいます。納期と棚卸管理については、生産革新活動によるリードタイムの短縮とともに、営業部門と生産部門の密接な連携による生産計画の精度向上と在庫水準の最適化を推進しています。

また、BCP(事業継続計画)の観点から、災害時の本社と生産拠点間の連携や調達・物流などの体制整備を行っています。

郡山第二事業所の稼働を開始

計測事業の中長期的な需要拡大への対応として、福島県郡山市に新工場(郡山第二事業所)を建設し、2013年7月に稼働を開始しました。新工場は、生産拡大に向けたボトルネックとなっていた、プリント基板の部品自動搭載ラインを担い、生産能力を従来の1.5倍に拡充しました。従来工場(郡山事業所)は主に製品の組み立てを担うことで役割を分担し、2工場を併せてアンリツグループのマザー工場として、生産の最適化を推進します。

研究開発

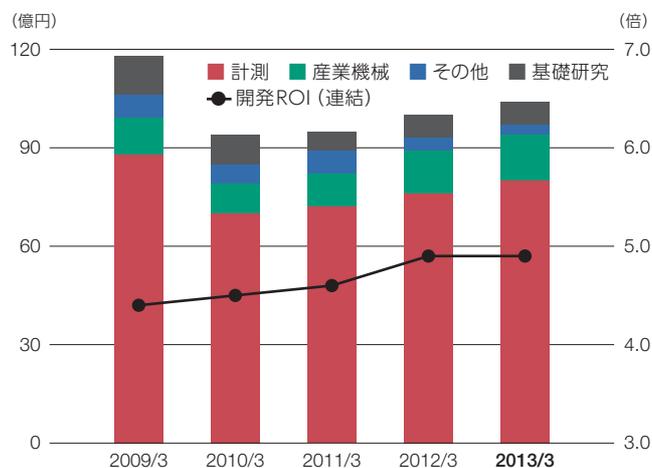
アンリツグループは、“オリジナル&ハイレベル”な技術の追求を競争優位の源泉と位置づけています。グローバルな研究開発体制と、積極的な標準化活動への参画を通じ、先端技術の獲得とその活用による新たなソリューション開発に取り組むとともに、知的財産の戦略的な活用による競争力強化を図っています。

■ グローバルな研究開発体制

当社は、日本、アメリカ、ヨーロッパに開発拠点を展開し、主力の計測事業の開発人員は約半数が海外に在籍しています。各地域の事業部門で保有技術を活用した製品開発を行うとともに、ソフトウェア開発については、東ヨーロッ

パやアジア地域でのアウトソースも活用して効率化を図っています。また、グローバルに活動するマーケティング部門と開発部門が密接に連携することにより、顧客ニーズを的確に捉え、TTMを重視したソリューションの開発・提供を実現しています。

事業セグメント別研究開発費推移



対売上高 比率	日本基準				IFRS
	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3
	13.9%	12.8%	12.0%	10.7%	10.9%

■ 研究開発投資の基本方針

技術進化のスピードが速い通信業界において、計測事業のモバイル分野を中心に、研究開発のテーマは加速度的に増加する傾向にあります。こうした中、当社はリターンを重視したKPIによる研究開発投資マネジメントを行うことで、投資効率の向上を図っています。

具体的には、開発ROI (売上総利益/開発投資額) 4.0倍以上をKPIとして設定し、個々の開発案件に対する投資決定の基準としています。

グローバルな研究開発拠点



■ 標準化活動への参画

研究開発活動の重要な取り組みの一つが、標準化活動への参画です。アンリツは、国際的な標準化団体である3GPPやGCF、ITU-Tなどに加わり、通信規格の標準化に積極的に関与しています。各標準化団体には、世界の情報通信産業をリードする企業が参画しており、標準化活動への積極的な取り組みを通して培った顧客とのつながり、知識、技術を製品開発にフィードバックすることで、競争力に優れたソリューションのタイムリーな市場投入に活かしています。

■ 知的財産戦略

先端技術の獲得・活用が競争優位を左右する当社のビジネスにおいて、知的財産戦略は事業戦略の中で極めて重要な位置づけを担っています。知的財産部門と開発部門が密接に連携し、研究開発成果の権利化をグローバルに推進するとともに、事業戦略や技術戦略との整合を見据えた

知的財産ポートフォリオの最適化を図っています。また、製品の競争力強化に向けた知的財産の積極的な活用とともに、情報収集・分析などを通じた知的財産リスクへの対応力強化にも取り組んでいます。

■ 当期の主な研究開発成果

当期は、計測事業ではLTEおよびLTE-Advanced関連ソリューションの開発とともに、データトラフィックの増大に対応した超高速ネットワーク向け計測技術や、汎用計測のアプリケーション拡充に取り組み、3G/LTEとWi-Fiなどの一体計測に対応した「ユニバーサルワイヤレステストセットMT8870A」などの新製品を市場投入しました。産業機械事業では、グローバルな食品検査需要の拡大を受け、多様な民族性や食文化に対応した高度な品質保証機器の研究開発に取り組み、高感度金属検出技術に加え、衛生管理や使いやすさを追求した「スーパーメポリVシリーズ金属検出機」を商品化しました。

ユニバーサルワイヤレステストセットMT8870A

